

地域ネットワークニュース

～平成24年4月の勉強会のお知らせ & 3月の勉強会報告～

第171回 地域ネットワーク勉強会
発達障害児の

2ヶ月
連続講座

※開催時間に注意!

4月26日(木)
午後1時～午後3時
神栖市保健・福祉会館内

幼児・学齢期から始める就労準備! (前編)
～基本的な生活習慣を身につけよう～

講師: 茨城県発達障害者支援センター 大野真裕氏 (センター長/臨床心理士)

障害者就労の関心は近年急速に高まっており、障害者が職業を通じ、誇りをもって自立した生活を送ることができるよう、障害者雇用対策も国の施策をベースに進められつつあります。

社会生活においては就労することだけが自立ではありませんが、幼児期や学齢期に学校と家庭が一体となって本人の将来を見据えて支援していくことが、未来の選択肢を広げる基礎となります。

「学校」はクラスメイトや先生といった、他者とのコミュニケーションを通じて社会性を身につけ、公私の区別を知る社会の縮図のような場所です。一方で「家庭」は、朝起きて、食事をして、余暇を楽しみ、就寝するといった、生活の基盤となる場所です。

そこで今回の勉強会は、学齢期以後の社会生活と就労に必要な身辺自立、遊び、学業面、対人面などの基本的な生活習慣についてお話頂きます。

なお、後編(5月24日開催予定)では、就労に際しての適正・適応能力の考え方、本人の得意・不得意(苦手)の認識の重要性など、より具体的な就労準備について講演を予定しています。

「将来を見据えて、今からできる! 今から始める! 就労準備」を柱に2回に分けての勉強会になります。ふるってご参加下さい。(前編・後編いずれか片方だけの講座への参加もできます。)

※事前申し込みが必要です。別紙申込書もしくは電話にてお申し込み下さい。

申込・問い合わせ先: 神栖市社協 地域福祉推進センター 担当: 三浦 電話 0299-93-0294

第170回 地域ネットワーク勉強会報告 3月13日開催 (参加者16名)

地域の中の福祉施設【特別養護老人ホーム】

講師: 特別養護老人ホーム白寿荘 施設長 飯岡真人氏

勉強会会場内に一つの仕掛けが…。「なんでみんな気づかないの?」と飯岡施設長。会場入り口付近に落ちている「100円玉」。



施設の職員が些細なことにも気付く姿勢が大切であることを伝えるために、職員教育の一環として施設内にも同様の仕掛けをするときがあるそうです。

職員一人ひとりが常に「捨て目捨て耳」を使いながら意識して行動することが、施設を利用する方の満足度を高めることにつながることを伝えていただきました。

そして、3.11の大震災。入所者の安全を最優先に確保しつつ、支援が必要な地域の方を一時的にでも受け入れられる体制を整えるための柔軟な対応と職員の行動力が発揮され、特別養護老人ホームは改めて「生活する場」であることを感じた、と当時の状況を伺いました。

通常の業務において職員全員が利用者、他の職員、施設環境などに配慮し、周囲に目を配る姿勢を養っておくことで、災害などの緊急時も迅速かつ柔軟に対応できるようになることから、常に「全体を見渡しながら状況を考え、行動する癖」がとても大切であることを再確認することができました。